

# 令和3年度 年間授業計画

都立小山台高等学校・定時制課程

1	教科・科目	数学・数学Ⅱ
2	対象学年	3 年
3	教科担当者	久保田
4	使用教科書	改訂 新学Ⅱ・東京書籍

3 単位

使用教材  
ニューファースト改訂新数学Ⅱ

## 5 年間授業計画

学期	月	単 元 (指導内容)	具体的な指導目標	予 定 時 数
1学期	4月	式の計算 整式の乗法、除法、	3乗の展開や因数分解ができるようにする。 $(a+b)$ の $n$ 乗の展開ができるようにする。整式の割り算の意味を理解する。	1 8
	5月	複素数と2次方程式 複素数、2次方程式 中間考査		
	6月	複素数と2次方程式 複素数、2次方程式		
2学期	7月	高次方程式 剰余の定理、因数定理 期末考査	2乗すると負になる数を学び、様々な計算をする。複素数の範囲で2次方程式を解く。多項式の因数分解に役立つ定理について学ぶ。因数分解などを利用して2次方程式より次数の高い方程式を解く。	1 8
	9月	点と座標 直線上の点の座標と内分・外分		
	10月	直線の方程式、2直線の関係 中間考査		
3学期	11月	指数関数と対数関数 累乗根、指数関数とグラフ、対数の性質	分数の指数への応用力をつける。対数の性質を学習し計算力をつける。常用対数表の見方を学習する。	2 1
	12月	期末考査		
3学期	1月	微分・積分 平均変化率、導関数、接線、増減表	微分係数と導関数について学習する。増減表を学習し、様々な関数のグラフを描く。定積分の計算をすることによって様々な図形の面積を求める。	2 7
	2月	不定積分、定積分、面積 学年末考査		
	3月			

## 6 学習者への注意

出席を常とし、日々の授業を大切にし、ノート等の提出物は必ず提出する。

## 7 評価の観点、方法

定期試験の得点を基本とし、授業態度・出席状況・授業に対する姿勢・提出物などを加味し評価する。